

持続可能な社会の発展のために果たすべき責任

行は「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」の精神を原点としたCSR憲章(経営理念)に「地域社会」「役職員」「地球環境」との「共存共栄」を掲げ、「環境」「福祉」「文化」を3本柱としたCSR活動に取り組んでいます。(詳細については、別途発行しております「CSRレポート」をご覧ください)。

「エコ・ファースト企業」に再認定

各業界における環境トップランナー企業として環境省が認定する「エコ・ファースト企業」に平成26年6月、再認定されました。最初の認定は平成20年で、経営に環境を取り込んだ「環境経営」のもと、金融商品・サービスの提供など環境保全を金融面から促進する「環境金融」への取り組みが認められたことによります。



環境配慮型店舗「唐崎支店」 新築オープン(平成26年3月10日)

町並みに配慮したデザインとし、営業スペースを最大限に確保するなど店舗機能の充実を図りました。太陽光発電やソーラー街路灯等を採用し、「クリーンバンクしがぎん」として環境に配慮しています。当行は5次長計に「お客さまの利便性が向上するチャネル機能の見直し」を掲げ、店舗機能の充実に取り組んでいます。



高等学校「現代倫理」の教科書に CSR活動事例として掲載

株式会社清水書院が平成26年2月に発行した高等学校「現代倫理」の教科書に「企業による社会貢献活動」の事例として、当行の環境保全活動や「環境金融」への取り組みが掲載されました。



【企業による社会貢献活動(任意助成の枠で環境保全活動を行う銀行員)】
この発行では、役職員が地域の環境保全活動に取り組んでいる。
また、銀行の本業である貸付を通じて、環境保全事業への融資や、定期預金に学校の環境学習への支援を組み込んだ商品の開発などを行っている。これらの社会貢献活動は、近江商人の精神を受け継ごうとするものであるという。
近江商人の精神とは「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」といわれるもので、売り手と買い手の利益だけでなく買い手の利益にもなり、さらに社会の利益にもなるべきであるという理念である。(日本の商業道徳について→p.97石田梅軒の遺言節)

第15回グリーン購入大賞で「大賞」受賞

平成25年12月、当行の「幅広い継続的な環境負荷低減の取り組み」が評価され、「大賞」を受賞しました。(主催：グリーン購入ネットワーク)



「第17回環境コミュニケーション大賞」でダブル受賞

環境報告書部門 環境報告大賞(環境大臣賞) テレビ環境CM部門 優秀賞

平成26年3月、当行発刊の「CSRレポート2013 歩みを、共に。」とテレビCM「ニゴロブナ・ワタカ放流」篇が優れた環境コミュニケーションツールとして高い評価を受け、栄えあるダブル受賞となりました。(主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム)



地域社会との共存共栄 創立80周年記念事業

いきものがたりプロジェクト

「CSRのしがぎん」というブランド戦略のもと、多岐にわたるCSR活動をこれまで展開してきました。その活動を創立80周年記念事業「いきものがたりプロジェクト」として一体化し、持続性、発展性、ストーリー性のある活動を3月末まで行いました。



学校ビオトープ贈呈式

開催日：平成25年6月3日(月)
子供たちが自然や生き物とふれあい、環境を学習する場を提供しています。



「ペットボトルキャップ」リサイクル活動

実施期間：平成25年7月1日～10月18日
回収したキャップ113,197個をNPO法人エコキャップ推進協会等へ寄贈。世界の子供たちへのワクチンや「再生プランター」等に生まれ変わりました。



しがぎん福祉基金贈呈式

開催日：平成25年4月24日(水)
創立50周年に設立した社会福祉法人しがぎん福祉基金は幅広く福祉活動に助成しています。



外来魚駆除・釣りボランティア

開催日：平成25年5月18日(土)
琵琶湖の生態系を取り戻すために実施。520名が参加し、1日で2,507匹、60.9kg分のブルーギルを釣り上げました。



森づくりサポート活動

開催日：平成25年8月24日(土)
植樹をしたびわこ地球市民の森で除草や枝打ちに680名が参加しました。創立70周年より続けている植樹合計は21,480本になりました。



ユニセフ外国コイン贈呈式

開催日：平成25年10月17日(木)
世界の子供たちのために役立ててもらうことを目的に、全支店に募金箱を設置。収集された外国コインや紙幣は36.8kgにのびりました。



「使用済み切手」回収活動

実施期間：平成25年7月1日～平成26年2月28日
回収をした53.65kgの使用済み切手は福祉団体に寄贈し、社会福祉に役立てられます。



ニゴロブナ・ワタカ放流事業へ170万円を寄贈

開催日：平成25年7月10日(水)
琵琶湖の固有種で絶滅危惧種のニゴロブナ・ワタカを保護・育成・放流しています。



びわ湖環境ビジネスメッセ2013 出展

開催日：平成25年10月24日～26日(木～土)
「環境ビジネス支援」をテーマに環境経営や環境金融の取り組みを紹介しました。



伊吹のススキ刈り

開催日：平成25年11月3日(日)
奥伊吹スキー場のススキ原の維持管理のために、ススキ刈りを実施。湖北エリア80名が参加しました。



ヨシ苗植え

開催日：平成25年11月16日(土)
あやめ浜水泳場・農協周辺のゴミ拾いの後、360本のヨシ苗を植栽しました。ヨシ群落を「守り、育てる」活動の1つで、130名が参加しました。



ヨシ刈り

開催日：平成25年12月7日(土)
安土・西の湖で実施したヨシ刈りには625名が参加。刈り取ったヨシは役職員の名刺に生まれ変わります。



ニゴロブナ・ワタカ放流式

開催日：平成26年1月25日(土)
今年度は環境対応型金融商品「カーボンニュートラルローン 未来よし」の拠出金によるニゴロブナ33,400匹、ワタカ40,000匹を放流しました。



ビワマス遡上プロジェクト

開催日：平成26年3月16日(日)
琵琶湖の固有種で準絶滅危惧種のビワマスの卵を役職員が育て、米原市天野川支流に稚魚を放流するプロジェクトを実施しました。